

1. 事業概要

- 各企業において自主的に労働時間管理、長時間労働の削減、健康障害防止対策を進めるために必要な労働基準関係法令等の解説や業種ごとの取組事例の紹介など、過重労働解消に必要な知識やノウハウについて、「過重労働解消のためのセミナー」を実施。
- 「過重労働解消キャンペーン」期間の平成26年11月を中心として、事業主や企業の労務担当責任者等を対象に、全国8箇所(北海道、宮城、東京、愛知、大阪、広島、香川、福岡)で、計10回実施し、761名が参加。

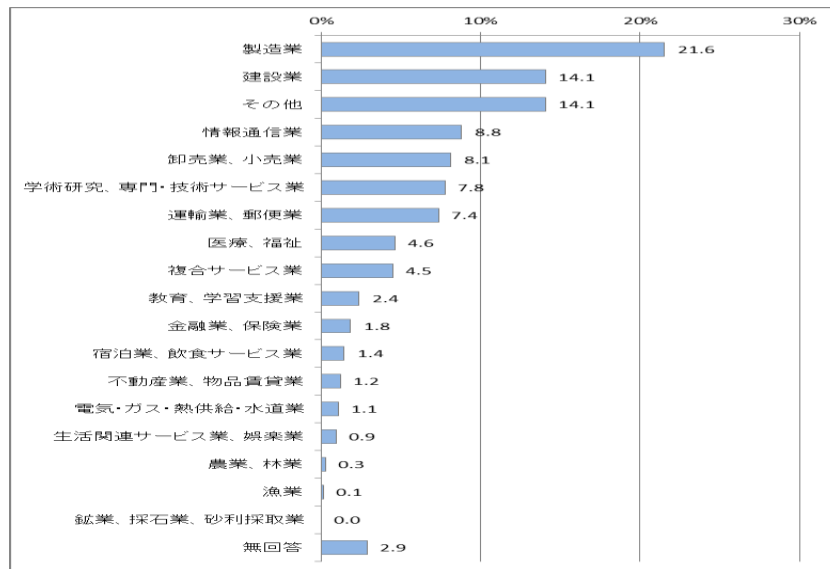


2. 参加者に対するアンケート調査結果

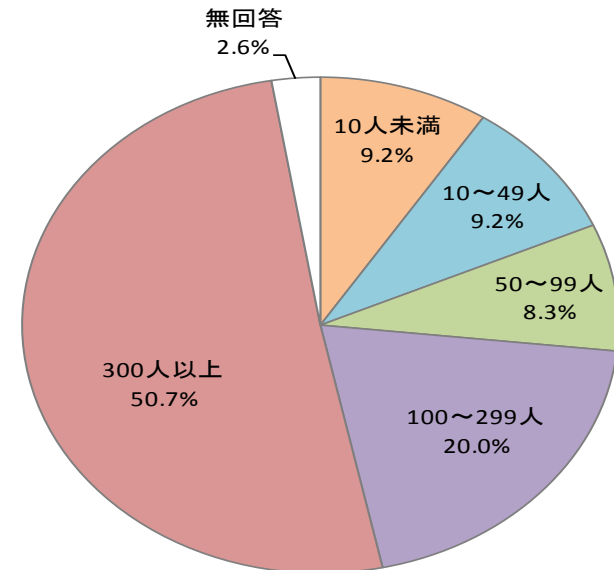
- セミナー終了後、参加者(全て労務担当責任者)に対し、所属企業の業種・規模、自社の過重労働の現状・問題点・今後の取組及び課題等について、アンケート調査を実施。【※ アンケート回収率は100%】

(1) 参加者の概要

◆ 業種



◆ 企業規模



(2) 参加者の問題意識

○ セミナーの参加者が感じている自社における過重労働解消のための主な問題点は以下のとおり。

【企業風土に関するもの】

- ①経営者・管理者の過重労働に対する認識不足
- ②長時間労働を評価する社風及び労働慣行
- ③企業間のコスト競争、利益第一主義
- ④業界の構造

【現場の実態に関するもの】

- ①特定の人・部署に業務が集中している
- ②労働時間の把握・管理ができていない
- ③作業の進捗状況等情報の共有ができていない
- ④長時間労働の抑制のためのルールや仕組みはあるが、機能していない

(3) 参加者の今後の取組

○ セミナーの参加者が今後実施したいと考える主な取組は以下のとおり。

【企業風土に関するもの】

- ①経営者・管理者の意識改革、経営者・管理者への過重労働解消に向けた取組の提案
- ②社風・風土の改革、人事評価制度・給与制度の見直し
- ③過重労働解消の重要性を周知徹底
- ④クライアントや協力会社への理解と協力を求める

【業務実施体制に関するもの】

- ①業務のスリム化・効率化、人材の適正な配置
- ②時間外労働の適正な把握、申請の厳格化
- ③情報の共有化、コミュニケーション強化
- ④過重労働解消への仕組みの構築・改善

【その他】

- ①ノー残業デーの推進、有給休暇の取得促進
- ②管理者の労務管理教育、社員のスキルアップのための研修制度の充実
- ③健康管理対策の強化
- ④現状の問題点の抽出・把握